

発展練習問題 10-3

<解答>

切削部門費：131,940 円

組立部門費：175,790 円

【解説】

直接配賦法による部門別原価計算の問題であり、最終に問われているのは切削部門費と組立部門費の金額だけだが、製造間接費部門別配賦表は問題文で与えられていないため自分で作成する必要がある。また、製造間接費（部門個別費と部門共通費）の金額が資料1のような形で与えられているため、資料1に記載されたそれぞれの費目がどの部門に属する部門個別費もしくは部門共通費であるかを自分で判断しなければならない。これらの点で基本練習問題と比べて難易度が高くなっている。

資料1より、各費目がどの部門に属する部門個別費もしくは部門共通費を整理すると次のようになる。

- ・機械修繕用スパナとドライバー3,000 円 ➡ 修繕部門の部門個別費
- ・切削部門の工作機械の機械油 500 円 ➡ 切削部門の部門個別費
- ・従業員の福利厚生費 90,000 円 ➡ 部門共通費
- ・組立作業用手袋 1,000 円 ➡ 組立部門の部門個別費
- ・切削用工作機械の減価償却費 12,000 円 ➡ 切削部門の部門個別費
- ・修繕部門の従業員の賃金合計額 12,830 円 ➡ 修繕部門の部門個別費
- ・工場建物の減価償却費 160,000 円 ➡ 部門共通費
- ・工場事務部門の従業員の賃金合計額 8,900 円 ➡ 工場事務部門の部門個別費
- ・組立用工作機械の減価償却費 15,000 円 ➡ 組立部門の部門個別費
- ・直接工（組立部門所属）の手待ち時間 5 時間（賃率は 900 円/時） 4,500 円
➡ 組立部門の部門個別費

したがって、各部門の部門個別費は次の通りである。

- ・切削部門の部門個別費：500+12,000=12,500 円
- ・組立部門の部門個別費：1,000+15,000+4,500=20,500 円
- ・修繕部門の部門個別費：3,000+12,830=15,830 円
- ・工場事務部門の部門個別費：8,900 円

また、部門共通費を資料2に基づいて各部門に配賦すると次の通りである。

- ・従業員の福利厚生費（90,000 円）
切削部門 $90,000 \times 9 \div 24 = 33,750$ 円

組立部門 $90,000 \times 10 \div 24 = 37,500$ 円

修繕部門 $90,000 \times 3 \div 24 = 11,250$ 円

工場事務部門 $90,000 \times 2 \div 24 = 7,500$ 円

・工場建物の減価償却費 (160,000 円)

切削部門 $160,000 \times 190 \div 625 = 48,640$ 円

組立部門 $160,000 \times 340 \div 625 = 87,040$ 円

修繕部門 $160,000 \times 70 \div 625 = 17,920$ 円

工場事務部門 $160,000 \times 25 \div 625 = 6,400$ 円

以上より修繕部門費と工場事務部門費は以下の通りになり、これらを資料3の配賦基準に基づいて切削部門と組立部門へ配賦する。

・修繕部門： $3,000 + 12,830 + 11,250 + 17,920 = 45,000$ 円

・工場事務部門： $8,900 + 7,500 + 6,400 = 22,800$ 円

○修繕部門費を切削部門へ配賦 $45,000 \times 14 \div (14+10) = 26,250$ 円

◇修繕部門費を組立部門へ配賦 $45,000 \times 10 \div (14+10) = 18,750$ 円

●工場事務部門費を切削部門へ配賦 $22,800 \times 9 \div (9+10) = 10,800$ 円

◆工場事務部門費を組立部門へ配賦 $22,800 \times 10 \div (9+10) = 12,000$ 円

これまでの計算によって、切削部門費と組立部門費は最終的に次のようになる。

□切削部門費： $500 + 12,000 + 33,750 + 48,640 + 26,250 + 10,800 = 131,940$ 円

■組立部門費： $1,000 + 15,000 + 4,500 + 37,500 + 87,040 + 18,750 + 12,000 = 175,790$ 円

《参考》製造間接費部門別配賦表を作成した場合

製造間接費部門別配賦表

(単位：円)

摘要	配賦基準	合計	製造部門		補助部門	
			切削部門	組立部門	修繕部門	工場事務部門
部門個別費		57,730	12,500	20,500	15,830	8,900
部門共通費						
福利厚生施設負担額	従業員数	90,000	33,750	37,500	11,250	7,500
建物減価償却費	専有面積	160,000	48,640	87,040	17,920	6,400
部門費					45,000	22,800
修繕部門	修繕回数	45,000	26,250	18,750		
工場事務部門	従業員数	22,800	10,800	12,000		
製造部門費		307,730	131,940	175,790		